

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	本田 信雄 HONDA Nobuo						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	(昨年度に引き続き)本格的に卒業論文を作成していく。通常ゼミ、個別作成指導、途中経過確認を中心に進めていき、下書き完成、最終チェックを経て完成に至る。論文として完成したものが出来上がるよう指導していく。						
授業の到達目標	①本格的に卒業論文作成に取り組み、12月半ばまでに一通り完成させ、仮提出を行なう。 ②冬休み明けに完全に完成させ、最終チェックを受ける。 ③最終チェック後に、完成版を再提出する。						
授業計画・内容	1	通常ゼミ①(卒論作成についての確認)	16	通常ゼミ⑥(後期内容・予定の説明)			
	2	通常ゼミ②(昨年度の続きを作成)	17	通常ゼミ⑦(卒論進捗状況の確認)			
	3	通常ゼミ③(昨年度の続きを作成)	18	個別作成指導(4回目)			
	4	個別作成指導(1回目)	19	個別作成指導(4回目)			
	5	個別作成指導(1回目)	20	個別作成指導(4回目)			
	6	個別作成指導(1回目)	21	卒論作成指導(主に作成が遅れている者対象)			
	7	個別作成指導(2回目)	22	途中経過確認②			
	8	個別作成指導(2回目)	23	途中経過確認③			
	9	個別作成指導(2回目)	24	途中経過確認④			
	10	個別作成指導(3回目)	25	卒論作成指導			
	11	個別作成指導(3回目)	26	卒論下書き完成とその確認			
	12	個別作成指導(3回目)	27	卒論仮提出とその確認、および指導			
	13	途中経過確認①	28	卒論最終確認とその提出			
	14	通常ゼミ④(卒論作成についての再確認)	29	卒論最終確認とその提出(前回までに提出出来なかった者)			
	15	通常ゼミ⑤(前期のまとめ、後期予定の説明等)	30	まとめ			
授業外学修 (事前学修)	配布資料や卒論作成要項に目を通しておく(毎週1時間)						
授業外学修 (事後学修)	卒論を指示された所まで作成していく(毎週2時間) 追加・修正箇所を確認し、それを行なう(毎週1時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	ゼミ・卒論作成への取り組み 卒業論文評価			30% 70%		①②③ ③	
成績評価基準	秀：(評点90点以上)到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点80点~89点)到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点70点~79点)到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点60点~69点)到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点60点未満)到達目標に達していない場合						
教科書	未定(論文の書き方についての資料を配布する予定)						
参考文献	なし						
その他							